◆農林水産業費◆
○いぐさ・畳表生産体制強化緊急対策事業　673万円
○氷川町農業元気づくり支援事業費補助金　333万円
○青年就農給付金事業費補助金　1，425万円
○経営体育成支援事業補助金　4，500万円
○い業機械再生支援事業補助金　900万円
○経営所得安定対策推進事業費補助金　319万円
○県営事業負担金　2，365万円
○国営造成施設管理体制整備促進事業負担金　514万円
○圃場整備事業償還金補助金　218万円
○町営土地改良事業償還金補助金　250万円
○氷川土地改良区補助金　619万円
○多面的機能支払交付金　3，359万円
○農業基盤整備促進事業補助金　1億162万円
○有害獣駆除助成金等　180万円
○水産基盤整備事業補助金　156万円

◆商工費◆
○商工会補助金　865万円
○商工業利子補給金　300万円
○住宅リフォーム等促進事業補助金　1，200万円
○観光物産協会補助金　244万円
○梨マラソン大会助成金　360万円
○竜北公園費　1，540万円
○立神峡公園費　1，544万円

◆土木費◆
○道路維持修繕費　6，032万円
○道路新設改良費　9，670万円
○橋りょう新設改良費　2，475万円
○河川改修費　2，325万円
○下水道事業特別会計繰出金　3億717万円
○桜ケ丘団地改修工事　2，910万円
○宅地開発事業特別会計繰出金　922万円

◆消防費◆
○八代広域行政事務組合消防本部負担金　2億5，199万円
○団員報酬　1，384万円
○熊本県市町村総合事務組合負担金　1，378万円
○消防小型動力ポンプ購入費　328万円
○消防用施設整備助成金　762万円
○氷川町地域防災計画改訂業務委託料　1，271万円

◆教育費◆
○特別支援教育支援員報酬　1，512万円
○私立幼稚園就園奨励費補助金　541万円
○奨学資金貸付金　264万円
○パソコン借上料　1，076万円
○氷川町及び八代市中学校組合負担金　2億1，483万円
○図書購入費　500万円
○体育協会助成金　580万円

「人事案件」が提出されました!!

◆教育長◆
地方教育行政の組織及び運営に関する法律第４条第１項の規定により、議会の同意を求められました。
◎太田　篤洋 氏　(新田)の任命に同意しました。

◆教育委員会委員◆
地方教育行政の組織及び運営に関する法律第４条第１項の規定により、議会の同意を求められました。
◎村山　賢一 氏　(今)の任命に同意しました。

特別会計	
会計名	予算額（千円）
国民健康保険	2,408,597
後期高齢者医療	152,680
介護保険	1,417,420
下水道事業	666,216
宅地開発事業	9,266

笠原良一議員・米村洋両議員が表彰受ける

全国町村議会議長会表彰［地域振興貢献］

平成27年2月、全国町村議会議長会（蓬清二会長）から、笠原良一議員に対し、多年議会議員として地域の振興発展に寄与された功績は顕著であるとして表彰されました。

また、熊本県町村議会議長会（松尾純久会長）からも同様の趣旨で表彰されました。

この表彰は、議会議員として15年以上在職されたことによるものです。

氷川町自治功労者表彰［永年公職者表彰］

平成27年3月、竜北公園で開催された「氷川まつり」において、氷川町の町政に参与して町勢の進展のため功労があったとして、米村洋議員が氷川町自治功労者表彰を受賞されました。

この表彰は、議会議員として12年以上在職されたことによるものです。

主な質疑

条例

江嵜議員　今回、新しく「すこやか赤ちゃん出産祝金」支給という新事業を立ち上げようということですが、例えば、出産されたあと1歳児の保育料の無料化とか、そういったもののほうが少子化対策になるのではないかと思います。

町長　あくまで少子化対策あるいは子育て支援ということで、是非、必要だということで創設したい。

補正予算

河口議員　町長にお尋ねします。担当課長から補正の説明の中でありましたが、スマートインターチェンジのアクセス道路、これが本来は昨年の3月末の開通と同時に完成させるということで、一度目が1年延びて、そして二度目が本年の3月末に完成しないということのようですが、施政方針の中で秋口までかかるというお話でしたが、だいたい何月ぐらいを想定されていますか。

私たちは説明を信じておりましたので、『3月でほぼ完成しますよ』と間違った情報を町民の皆さんにお話してきました。お答えできる範囲でお願いします。

町長　宇城・氷川スマートインターチェンジ事業につきましては、昨年の3月が本来の完成予定でした。事情があり、アクセス道路の開通が1年遅れるということで努力をしてまいりましたが、完成に至りませんでした。これから速度を速めていち早く完成できるように頑張ってまいります。

江嵜議員　住宅リフォーム促進事業の補助金200万円が減額になっております。これは、申請がなくて減額なのか。申請はあったけれど、時間的に間に合わずに減額なのか。理由を伺いしたい。

商工観光課長　3月4日時点の実績で、補助額が1，170万円です。残額の受付できますが、この時点で事業実施が難しいということで、申請の見送りもあっていますし、それらを見込んでの減額です。

江嵜議員　「プレミアム付き商品券」の販売事業補助金についてですが、事業主体は氷川町ですか。商品券の販売にあたって、今は1割の補助になっていますが、補助率やどれくらいのエリアで購入できるのですか。説明をお願いします。

商工観光課長　「プレミアム商品券」ですが、詳細はこれから詰めますが、事業主体は商工会で、商工会に補助金という形でお出しして、取り組んでいただこうと考えています。

プレミアム分につきましても、これまで10パーセントを20パーセントの"倍"ということで考えています。

利用の範囲ですが、これまでどおり町民の方を考えております。

当初予算

米村議員　空き家対策特別措置法に2月に施行されたと思ますが、我が町には空き家がどれくらいあるのか。

総務課長　空き家数につきまして、3、4年ほど前、区長を通じて調査していただきましたところ、180件の空き家を確認しています。

総務振興課長　昨年から「空き家バンク」の登録をお願いしますということで、持ち主が分かっている分について登録を依頼し、現在、登録が1件、あと2件ほど相続登記ができていませんが、3件ほどあります。

米村議員　今、その180件に対して、固定資産税を200㎡については、6分の1の課税をしている。今後、どういう基準を設けていくのか。

税務課長　固定資産税を課税する場合、前年の課税標準額と評価額等から課税標準額を求めています。居宅があれば、200㎡までは、6分の1の軽減をかけています。

空き家になっても、一応、その住まいが住宅であれば、現在、6分の1で取っています。

空き家になった場合、古い家屋がそのまま残り、危険家屋になり、それを壊してしまうと住宅地ではなくなり、軽減が外れて6倍（6分の6）になってしまうことから、危険家屋も壊されないで、そのままの場合が多くあります。

今後の税制改正が予定されています。今後、税制改正に基づいて行っていく予定です。

その他

江嵜議員　定住自立圏形成協定の締結に向けて国の助成金が概ね両市町で1億円あるという話ですが、相互に役割分担していくということで、氷川町としてこの自立圏構想の中でどういう役割を持ちたいと考えておられるのか。

町長　定住自立圏形成協定の締結後の考えはということでございますが、私どもは八代地域の北部にございます。その周辺を見てみますと、やはり氷川流域の泉、東陽、鏡、千丁あたりは一つのエリアなのかなと思っています。その北部のエリアで中心的な役割を私どもがやっていきたい。ビジョン策定の中で任せていただけるようなことをやっていきたいし、皆様からお知恵をお借りしたいと思っております。